

# 聴くオフ・ミーティング報告書

テーマ **アニメで盛り上げる杉並！**

令和8年5月16日開催

～なみすけも活用した魅力の発信～

区では、区政への区民参加の仕組みづくりとして、身近な行政課題について、区長と区民が直接意見を交換する「聴くオフ・ミーティング」を開催しています。令和8年5月16日は、「アニメで盛り上げる杉並！～なみすけも活用した魅力の発信～」をテーマに、一般公募と無作為抽出した2000名の区民の中から参加していただいた18名の方と話し合いました。

## 区長から

本日は、アニメや区の公式キャラクター「なみすけ」を活用したすぎなみの魅力発信について、皆さまと一緒に考えていきたいと思えます。区には多くのアニメ制作会社が集まっていることからアニメ文化を活かした「アニメ・マンガフェス」や「なみすけ」を活用したグッズの制作、デザインマンホール等様々な場面で区の魅力を発信しています。

区の魅力を発信することは、自分の住むまちに抱く「誇り」や「愛着」を育むシビックプライドにも関連する大事な政策ですが、創造的な分野であると同時になにをやっても正解はないという難しい分野でもあります。こういう分野こそ、みなさんの知恵や経験、思いを活かしていきたいということで、本日のミーティングを企画しました。本日はアニメーションミュージアムの吉田館長もお招きしております。館長の話も参考にして、活発な意見交換をしていきたいと思えます。



## 東京工芸大学杉並アニメーションミュージアム 吉田 力雄館長

～作り手の熱き思いが見る側に伝わるのが大事～

### Q1 アニメ制作を通じて、一番思い出に残っていることは？

東京オリンピックの年に（1964年）成田東に東京ムービーが設立され、「あしたのジョー2」「ベルサイユのばら」「ルパン三世」近年では「名探偵コナン」「それいけ！アンパンマン」のテレビシリーズを製作しています。どの作品も締切りに間に合わせるとするのが使命で、全社員が役員ともども一丸となって作り上げたというのが一番印象に残っています。徹夜作業も多い毎日でした。



### Q2 制作したアニメの中で一番印象に残った作品は

宮崎駿監督の「ルパン三世カリオストロの城」です。作画と表現技法の全てが完成度の高い作品であり、ストーリーの面白さと演出技法は素晴らしいです。公開当初はさほどヒットしなかったのですが、今年で公開から47年経って、その間の二次利用や海外展開で大きく貢献をする作品となり、商業アニメとしても生涯収益をもたらすコンテンツとなりました。「アニメは年を取らない」といいますが、本作品はまさにその代表作となりました。

### Q3 これまで館長が携わった作品には多くのヒット作がありますが、ヒットの極意は何ですか？

それがわかれば苦労はないのですが……。デジタル技術の進歩で映像の表現手法は広がりましたが、やはり土台となるのがシナリオでストーリーがしっかりしていて面白いかどうかではないでしょうか。作り手の熱き思いが観る側に伝わるというのがヒットの条件だと思います。それと、話の面白さは、日本の文化、家族愛、友情や仲間意識の描き方のカッコ良さや可愛いらしさにあるのではないのでしょうか。

#### Q4 館長が考える「アニメのまち杉並」とは？ アニメをとおして人が集まることのできる街に

東京ムービーや機動戦士ガンダムの子サンライズが区に会社を構えたことが要因となって、プロダクションやクリエイターが集まり「アニメのまち杉並」が始まったと記憶しています。アニメーションミュージアムも昨年で20周年、来館者も100万人を越えました。制作会社が作品を作り続けて今や大きな産業になっています。先人たちの技術や映像資産を次の時代に伝えることはもちろん、地場産業として杉並に根付いた文化として、商店街や区民の人たちとも協力してアニメをとおして「多くの人が集まれるまちになってほしい」と思っています。

### 担当課からの説明

#### 1 アニメを活用したにぎわいの創出



区では地場産業となっているアニメを観光資源として、2005年に杉並アニメーションミュージアムを開館しました。アニメ作品やそのキャラクターは著作権で厳格に管理されていますが、杉並アニメーションミュージアムでは入場料を無料にすることで、比較的、著作物の使用許諾を得やすい環境を整え、日本のアニメを一堂に集めるとともに、様々な企画展示をしています。また2008年には上井草駅に区内アニメ制作会社のサンライズ（現バンダイナムコフィルムワークス）と連携して「機動戦士ガンダム」モニュメントを設置しました。その他、地域等と連携し、商店街にアニメフラッグを掲げたり、地域情報誌「Ogibon」の特別号として区内アニメ制作会社を紹介する冊子を制作しアニメを身近に感じることができる取組を行っています。

#### 2 杉並区公式アニメキャラクター「なみすけ」の活用



「なみすけ」は2006年にアニメのまち杉並の魅力を発信する親善大使、区民と区を優しくつなぐキャラクターとして誕生しました。区民に親しみを持ってもらうために、高円寺阿波おどり、二十歳の集い、アニメマンガフェス等のイベントに出演しています。また、来街者を誘致するため「なみすけのデザインマンホール」を区内8か所に設置しています。さらになみすけのデザイン使用料を無償にしたことで、なみすけのデザインも現在439種類が増えて区民に親しまれています。なみすけグッズは区役所のコミュニケーションショップやアニメーションミュージアムで購入することができます。



デザインマンホール

#### 3 「ひらやすみ」を活用した取組 アニメ「ひらやすみ」の放送(2027年1月)を控えて

阿佐谷のまちを舞台として、日常のゆったりとした暮らしと人とのつながりを描いた人気漫画「ひらやすみ」が昨年のドラマ化に引き続き、来年、アニメ放送が予定されています。これを機に「ひらやすみ」を活用した杉並区の魅力を発信するため、現在、小学館集英社プロダクションと連携したPR施策を予定しています。今日、出席の皆さまからも、様々なアイデアをいただければと思います。

### グループトーク





## ①アニメを活用して杉並の認知度を上げるには？

- 参加者 🗑️ たくさんあるアニメ会社のグッズを一括して販売するショップを作っては。エヴァンゲリオン  
の制作会社もあり、そのグッズも杉並で買えると区の魅力アップにつながるのでは。
- 参加者 🗑️ 制作会社のメリットを考えて連携すればアニメ活用のアイデアも沸くのではないかな。
- 参加者 🗑️ 「移住者の増加」を目標にアニメを活用しては。マイナンバーのカードケースをアニメのキャラ  
クターにしては。また移住者をアニメ会社の見学ツアーに招待するのはどうか。
- 参加者 🗑️ 母子手帳やマイナンバーのカードケースにアニメのキャラクターをつかっては。
- 参加者 🗑️ アニメ会社が公認するコスプレサミットを開催してはどうか。
- 参加者 🗑️ 短いアニメを作り、いたるところで繰り返し放映して区のイメージアップにつなげては。

## ②「なみすけ」を活用して区をPRするには？

- 参加者 🗑️ 「なみすけ」の絵を複数のアニメ会社に描いてもらう。それぞれの個性が出て面白いし区の宣伝  
になる。いろいろなアニメの背景に「なみすけ」を登場させる。
- 参加者 🗑️ 空き家を活用して「なみすけグッズ」ストアーを展開する。空き家問題の解決にもつながる。
- 参加者 🗑️ コンビニーとコラボした商品を作り、「なみすけ」シールを貼って販売する。同様のことは他の  
自治体でやっていると聞いたので実行しやすいのではないかな。
- 参加者 🗑️ 日常の中で「なみすけ」を意識できるようにする。例えば、ラジオ体操のスタンプを「なみすけ」  
にする。
- 参加者 🗑️ 子どものイベントに「なみすけ」を登場させ、幼いころから「なみすけ」のイメージを印象づけ  
ればグッズも売れ、区の人気も上がるのでは。
- 参加者 🗑️ バス停や図書館など日頃利用する場所で「なみすけ」を見ることができるようする。
- 参加者 🗑️ おむつに「なみすけ」のデザインを入れてはどうか。
- 参加者 🗑️ 「なみすけ」を区の随所に登場させる。ミュージアムへの道案内用になみすけを使う。

## ③阿佐谷を舞台とする「ひらやすみ」を活用した取組

- 参加者 🗑️ 阿佐谷で、「ひらやすみ」の聖地巡礼のウォークラリーをしてはどうか。
- 参加者 🗑️ 空き家を活用して「ひらやすみ」の平屋を阿佐谷に再現する。ドラマの撮影場所を巡礼したが、  
阿佐谷に平屋はなかったのが残念だったことから提案したい。

## ④その他

- 参加者 🗑️ まちの中で日常的にアニメのある環境を作ると愛着が沸き、アニメに対するハードルが低くな  
ると思う。
- 参加者 🗑️ アニメのまち杉並のシンボルとして、谷川俊太郎作の鉄腕アトム  
の歌の銘板を設置しては。

## 担当課感想

## 産業振興センター次長



本日は、アニメに関する3つのテーマについて、熱心に意見を出し合ってくださいありがとうございました。私どもでは中々思いつかないものもありとても参考になりました。例えば、「ひらやすみ」を活用した取組として平屋を再現してはどうかという意見があり、かなり大規模な取組案ですが、面白いアイデアでしたので、今後、小学館集英社プロダクションとの話し合いの中で区民からの意見として伝えていきたいと思えます。

また、アニメの制作会社と連携した「なみすけ」の活用として、「なみスケ」の絵を複数のアニメ制作会社に描いてもらうとの提案もありました。これまでなかったアイデアで、著作権の問題もありますが、今後考えてみたいと思えます。今年は計画の改定を予定しており、来年度からの4年間、どのような施策を進めていくか検討してまいります。ありがとうございました。

## 区長感想

本日はアニメや「なみすけ」の活用について様々なアイデアに触れることができ、とても参考になりました。「アニメを使って区の認知度を向上させる」とか「にぎわいを創り出す」。

それによって、どのような杉並区にしたいのかと問い直してみたとき、根底には皆さんの杉並区への理解や愛着があり、そのうえでのプロモーションがアニメや「なみすけ」の活用なのだと思います。「空き家を使ったなみすけのグッズショップ」など、複数の行政課題の解決につながる非常にありがたい提案もいただきました。今日いただいた意見はこれからのアニメやなみすけの活用をはじめ行政課題の解決に活かしていきます。



令和8年5月16日開催 聴くオフ・ミーティング報告書

<参加者> 区民18名、区長、産業振興センター次長ほか

令和8年5月 編集・発行 総務部区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-5307-0728